

Garden Map

都心にあつて緑豊かな当館の庭園には3つのエリアがあり、
春夏秋冬それぞれ異なった表情でみなさまを
お迎えしております。



新館

東京都庭園美術館

本館

〔旧朝香宮邸〕

美術館入口



庭園入口



芝庭

Lawn Space

日本庭園

Japanese Garden

西洋庭園

European Garden

茶室「光華」

Tea House

《風》

安田侃

チケット売り場

レストラン

正門

TOKYO METROPOLITAN
TEIEN ART MUSEUM

東京都庭園美術館

○入園に関するお願い

みなさまに気持ちよくご利用いただくため、以下のことをご遠慮願っております。ご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ・ボール、ラケット等の道具を使った遊び
- ・ペット類を連れての入園(補助犬を除く)
- ・アルコール類の持ち込み
- ・楽器、ラジオ、音楽プレーヤーの利用
- ・ゴミの投げ捨て・放置(カラス被害を避けるため、飲食に伴うゴミは必ずお持ち帰りください。)
- ・庭園内におけるレフ板等の機材を使用した撮影(商業目的の撮影は、事前に当館の許可が必要です。詳細はお問い合わせください。)
- ・幼児のみの入園(幼児には保護者が付き添ってください。)
- ・危険物の持ち込み
- ・その他、他のお客様に迷惑になる行為

Plants Calendar

植物名		特 徴	見頃のめやす											
			1.Jan	2.Feb	3.Mar	4.Apr	5.May	6.Jun	7.Jul	8.Aug	9.Sep	10.Oct	11.Nov	11.Dec
	ツバキ	[常緑低木] 多様な園芸品種があり、花色も桃色、赤、白などさまざま。葉には照りがある。花弁が散らず、花全体がボトリと落ちる。	→											
	サザンカ	[常緑小高木] 野生種は秋～冬に白い花が咲くが、ツバキとの交配種などの園芸品種は花の色も形も多様で、花期も冬～春先に及ぶ。	→											
	クリスマスローズ	キンポウゲ科の多年草。花の色・形ともに非常にさまざま。花びらのように見える部分はがく片。	↔											
	ウメ	[落葉小高木] 原産国の中国では四君子と呼ばれる植物のひとつ。日本でも古来より親しまれ、万葉集の和歌にも多く詠まれている。	↔											
	スイセン	ヒガンバナ科の球根植物。ギリシア神話では、水に映った自分の姿に恋いこがれた美少年が化身した花とされる。	↔											
	コブシ	[落葉低木] 早春に白い花が芳香を放つ。ハクモクレンの花とよく似ているが、コブシの方が小さく、花の下に小さな葉を付ける。	↔											
	ミツバツツジ	[落葉低木] 早春、葉が出る前の枝に小ぶりの花が咲く。花色は紅紫色、白など。日陰を好む。	↔											
	ユキヤナギ	[落葉低木] 無数の白い小花が枝もたわわに咲き、枝垂れる姿が美しい。小米柳の別名をもつ。紅葉も美しい。	↔											
	ヒイラギナンテン	[常緑低木] 花色は黄。花後の青紫色の実、秋には黒紫色に熟す。冬季に、気温の具合によっては葉が美しく紅葉する。	↔											
	アセビ	[常用低木] ブランデーグラスをさかさにしたような、鐘形の白い小花が鈴なりに咲く。漢字名は馬酔木。	↔											
	ソメイヨシノ	[落葉高木] 日本の春を象徴するバラ科の花木。古来より日本人に親しまれ、多くの和歌にも詠まれてきた。種類も豊富。	↔											
	ムラサキハナナ	アブラナ科。ダイコンの花に似た紫色の花が咲く。オオアラセイトウ、諸葛菜などともよばれる。こぼれ種からよく増える。	↔											
	ニリンソウ	林などに自生するキンポウゲ科の多年草。一株から通常二つの白い花を咲かせる。花びらのように見える部分はがく片。	↔											
	エビネ	日本に自生するラン科の多年草。乱獲により野生種が激減してしまった。半日陰を好む。園芸品種も多く、花色もさまざま。	↔											
	シラン	日本に自生する野生ラン。鮮やかな紅紫色、または白。ひとつの花茎に複数の花が咲く。	↔											
	コデマリ	[落葉低木] 庭の植込みや切り枝などに多用されるバラ科の植物。白い小花が球状に集まったかたまりが、枝もたわわに群がる。	↔											
	ドウダンツツジ	[落葉低木] 花はツツジには似ていない。スズランを思わせるつりがね状の白い小花がぶら下がるように多数咲く。紅葉も見事。	↔											
	ヤマブキ	[落葉低木] 鮮やかな黄色の花が咲くバラ科の植物。半日影を好み、群落を作る。英国ではジャパニーズ・ローズとも呼ばれる。	↔											
	ボタン	[落葉灌木] 薬用として中国から渡来。中国では花の王として愛でられてきた。多様な園芸品種があり、花色・形は非常に豊富。	↔											
	シモツケ	[落葉低木] 花色は淡紅色など。多数の小花が房状に咲く。コデマリの仲間。	↔											
	サツキ	[常緑低木] 常緑性ツツジの一種。花色は朱紅色、紅紫色、白など。一つの株に単色咲きや絞り咲きが混在して咲く種類も多い。	↔											
	ビヨウヤナギ	[半落葉低木] 中国原産のオトギリソウ科の花木。長い多数のおしべが特徴的な山吹色の花が咲く。中国では金糸桃とよばれる。	↔											
	シャリンバイ	[常緑小高木] 梅に似た白い花が咲く。奄美大島では樹皮などが大島紬の染色に用いられる。花が桃色の種類もある。	↔											
	シャクヤク	薬用として中国から渡来。ボタンと似ているが、シャクヤクは草に分類される。大輪で芳香のある花が咲き、色・形ともに非常に多様。	↔											
	キミガヨラン	[常緑低木] 北米原産、花茎を長く伸ばし黄白色で鐘のような形をした花をつける。日本には明治以降に渡来し、広まった。	↔											
	ヒベリカム	[半落葉低木] 5～7月に長いおしべが特徴的な山吹色の花が咲く。花後に赤い実を付けた枝は、ブーケの花材や切り枝として人気。	↔											
	バラ	[落葉灌木] 多様な品種があり、花色・形ともに豊富。鑑賞用品種は香りの少ないものが多い。春の花は大きく、秋の花はやや小さい。	↔											
	ミヤコフスレ	日本原産のキク科の多年草。花色は清楚な紫が基本色だが、品種改良により色の種類も増えている。	↔											
	ギンバイカ	[常緑低木] おしべの長い、梅に似た白い花が咲く。葉には芳香があり、ヨーロッパでは香料として用いられる。	↔											
	アヤメ	花色は紫、白。カキツバタや花菖蒲と異なり、水はけのよい土地で育つ。	↔											
	アジサイ	[落葉低木] 日本原産。花びらのように見える部分はがく片。花の色がだんだんと変化することから、「移り気」の花言葉をもつ。	↔											
	オオデマリ	[落葉低木] 白い小さな花が集まって、アジサイのように丸い形を作る。テマリバナともよばれる。	↔											
	アガパンサス	南アフリカ原産のユリ科の植物。紫色の花が集まって放射状に咲き、花が集まった部分は球状に見える。和名は紫君子蘭。	↔											
	クチナシ	[常緑低木] 強い芳香をもつ白い花が咲く。実からは黄色の色素がとれ、食品の着色などに利用される。	↔											
	キョウチクトウ	[常緑低木] インド原産。排気ガスに強く、道路の植栽などに多用される。	↔											
	カサブランカ	ユリの女王とも称される大輪の品種。花色は白。非常に香りが強い。	↔											
	カノコユリ	薄桃色を帯びた花弁に紅色の斑点をもつ。うつむき気味に咲く風情が可憐。	↔											
	サルスベリ	[落葉高木] 樹皮がつるつるしていることがその名の由来。花期が長く、百日紅の別名をもつ。濃淡のピンクのほか、白い花もある。	↔											
	ノボタン	[常緑熱帯性低木] 花色は紅紫、白など。種類により花期が異なる。寒さに弱い。	↔											
	キンモクセイ	[常緑小高木] 中国原産。橙黄色の小花が多数咲き、強い芳香がある。花の香りを生かしたお酒やお茶も作られる。	↔											
	イイギリ	[落葉高木] 初夏、花弁のない小花が咲く。秋～冬の鮮やかな赤い実が美しい。	↔											

東京都庭園美術館の庭園では、さまざまな植物を楽しむことができますが、なかでも美しい花や実を付ける草花・樹木の見頃をご紹介します。ここにご紹介するもの以外にも季節の花々がありますので、散策と共にお楽しみください。
※見頃は例年の開花状況を元にしためやすです。気候などの影響によって変わることがあります。